平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名　株式会社 ゲオホールディングス　　上場取引所　東 名
コード番号　2681　URL　http://www.geonet.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 遠藤 結蔵
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 吉川 恭史　TEL 0568-33-4388

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	193,152	0.8	11,810	△15.1	11,811	△14.8	5,768	△15.0
24年3月期第3四半期	191,546	2.7	13,903	55.6	13,868	48.9	6,786	14.7

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　5,087百万円　(△26.5%)　24年3月期第3四半期　6,920百万円　(16.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	10,645.19	10,631.46
24年3月期第3四半期	12,479.76	12,454.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	130,336	56,552	41.6
24年3月期	128,075	53,425	39.4

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　54,163百万円　24年3月期　50,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	1,500.00	―	1,500.00	3,000.00
25年3月期	―	1,500.00	―		
25年3月期(予想)				1,500.00	3,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	0.7	15,000	△18.1	15,000	△8.9	7,500	9.6	13,841.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 有
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 有
④ 修正再表示	： 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細については、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	543,828 株	24年3月期	543,828 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,863 株	24年3月期	0 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	541,843 株	24年3月期3Q	543,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機に伴う信用不安の広がりや新興国における経済の減速によるデフレ傾向が続く中で、個人消費が落ち込みを見せるなど依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましてはポケットマネーで楽しめるレジャーをお届けするため、店舗網の構築とシェアの向上に努め、当第３四半期連結累計期間においても引き続き積極的な出店を実施した結果、「ゲオショップ」を60店増加し、グループ店舗施設数は74店舗増加し1,542店となりました。

リユース業界におきましては、引き続き成長する市場において、更なるシェア獲得のため、「セカンドストリート」「ジャンブルストア」の出店を継続し20店増加致しました。また、11月末よりテレビＣＭを使用した全店規模のウインターセールの実施もあり、堅調な推移となりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の連結業績は、売上高193,152百万円（前年同期比0.8％増）、営業利益11,810百万円（前年同期比15.1％減）、経常利益11,811百万円（前年同期比14.8％減）、四半期純利益5,768百万円（前年同期比15.0％減）となりました。

以下は、当第３四半期連結会計期間末における当社グループの店舗・施設数の状況であります。
（ ）内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	ＦＣ店	合計
ゲオグループ店舗施設数	1,304 (+75)	107 (+1)	137 (△5)	1,542 (+74)
小売サービス店舗	1,251 (+77)	107 (+1)	137 (△5)	1,489 (+76)
ゲオショップ	1,044 (+63)	107 (+1)	97 (△4)	1,248 (+60)
セカンドストリート ジャンブルストア	301 (+20)		42 (0)	343 (+20)
携帯電話販売店等	35 (△3)			35 (△3)
アミューズメント施設	53 (△2)			53 (△2)
ゲオディノス	20 (△1)			20 (△1)
ウェアハウス	10 (△1)			10 (△1)
ゲオフィットネス	15 (0)			15 (0)
ゲオカフェ・飲食店	8 (0)			8 (0)

（注）１．当第３四半期連結累計期間より、店舗数は屋号ごとにカウントしております。
２．同一施設内において複数の屋号で営業している場合、小売サービス店舗としては併せて１店舗とカウントしております。
３．同一施設内において直営店と代理店・ＦＣ店を複数の屋号で営業している場合、屋号ごとにカウントしておりますが、小売サービス店舗合計としては併せて１店舗とカウントしております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は62,101百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,861百万円増加いたしました。これは主に商品が5,144百万円増加したことによるものであります。固定資産は68,235百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,599百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が2,367百万円、のれんが860百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、130,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,261百万円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は47,961百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,072百万円増加いたしました。これは主に買掛金が9,692百万円増加した一方、未払法人税等が4,870百万円、引当金が674百万円減少したことによるものであります。固定負債は25,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,937百万円減少いたしました。これは主に社債が731百万円、長期借入金が3,418百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、73,784百万円となり、前連結会計年度末に比べ865百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は56,552百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,126百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益5,768百万円及び剰余金の配当1,627百万円、自己株式の取得334百万円によるものであります。

なお、自己資本比率は41.6％（前連結会計年度末は39.4％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年５月10日付「平成24年３月期　決算短信」にて公表いたしました平成25年３月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成25年２月７日）公表の「平成25年３月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,072	25,031
売掛金	5,693	7,439
商品	15,394	20,539
その他	7,468	9,469
貸倒引当金	△389	△377
流動資産合計	56,240	62,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,733	15,712
その他（純額）	25,798	24,452
有形固定資産合計	42,532	40,164
無形固定資産		
のれん	3,057	2,197
その他	1,161	1,157
無形固定資産合計	4,219	3,354
投資その他の資産		
敷金及び保証金	15,037	15,338
その他	13,124	12,895
貸倒引当金	△3,079	△3,517
投資その他の資産合計	25,082	24,715
固定資産合計	71,834	68,235
資産合計	128,075	130,336
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,003	21,696
1年内返済予定の長期借入金	10,623	10,790
未払法人税等	7,846	2,975
引当金	1,338	663
その他	12,076	11,835
流動負債合計	43,889	47,961
固定負債		
社債	2,685	1,954
長期借入金	18,538	15,120
引当金	249	228
資産除去債務	3,318	3,521
その他	5,967	4,997
固定負債合計	30,759	25,822
負債合計	74,649	73,784

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,603
資本剰余金	6,078	6,078
利益剰余金	35,546	39,687
自己株式	－	△334
株主資本合計	50,229	54,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178	127
その他の包括利益累計額合計	178	127
新株予約権	159	159
少数株主持分	2,858	2,229
純資産合計	53,425	56,552
負債純資産合計	128,075	130,336

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	191,546	193,152
売上原価	109,256	110,483
売上総利益	82,289	82,669
販売費及び一般管理費	68,385	70,859
営業利益	13,903	11,810
営業外収益		
不動産賃貸料	602	726
その他	642	589
営業外収益合計	1,244	1,316
営業外費用		
支払利息	486	377
不動産賃貸費用	366	391
固定資産除却損	99	410
その他	327	135
営業外費用合計	1,280	1,315
経常利益	13,868	11,811
特別損失		
減損損失	547	1,484
その他	49	23
特別損失合計	597	1,508
税金等調整前四半期純利益	13,270	10,302
法人税、住民税及び事業税	5,985	5,276
法人税等調整額	408	△116
法人税等合計	6,393	5,159
少数株主損益調整前四半期純利益	6,877	5,142
少数株主利益又は少数株主損失（△）	90	△625
四半期純利益	6,786	5,768

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,877	5,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43	△55
その他の包括利益合計	43	△55
四半期包括利益	6,920	5,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,826	5,716
少数株主に係る四半期包括利益	93	△629

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間　（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	180,132	9,574	189,707	1,838	191,546	―	191,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	0	20	31	52	△52	―
計	180,153	9,574	189,728	1,870	191,598	△52	191,546
セグメント利益	15,068	444	15,513	48	15,562	△1,658	13,903

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,658百万円には、セグメント間取引消去△52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,605百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間　（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	小売サービス	アミューズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	182,271	9,020	191,291	1,860	193,152	－	193,152
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	0	29	31	60	△60	－
計	182,300	9,020	191,320	1,892	193,213	△60	193,152
セグメント利益又はセグメント損失（△）	13,245	△168	13,076	85	13,161	△1,351	11,810

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,351百万円には、セグメント間取引消去△60百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,290百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴うセグメント情報に与える影響は軽微であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性が乏しいため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。